

紙芝居

地球温暖化の原因や影響、それに対する対策、特に自分達ができる省エネ対策について、楽しく学ぶ紙芝居。

ちきゅうをまもれ アースマン

原案：坂戸市役所

脚本・絵：井出 裕子





演じる前に 大気中に二酸化炭素などの温室効果ガスが、これ以上増え続けると、世界の自然環境は、いちじるしく変化するおそれがあります。自然災害がふえたり、異常気象などの原因にもなります。

温室効果をくいとめるために小さい子でもできることは何か？
 普段の生活の中で考えるきっかけになってほしいと思い、紙芝居を作りました。

読み終わった後にみんなでなにができるか話し合っ欲しいです。

登場人物の紹介 地球は英語でアースといいます。

アースマン 地球を守る正義の味方です。

エコちゃん エネルギーを節約してアースマンを助けるみんなの仲間(仲良し)です。

博士 科学者。アースマンの育ての親です。

ムダゴン さあ、これから始まる紙芝居で見て下さい。

なんだか悪者みたいですよ。



アースマン 「みなさんこんにちは
 僕の名前はアースマン。
 地球をまもる正義の味方です。
 今ね、きみたちの地球があぶないんだ。
 たいせつな地球をみんなでまもろうよ！」



ある日、地球にムダゴンという強い怪獣が現れました。

ムダゴンは、人間が電気やガス、ガソリンなどのエネルギーを無駄遣いして出るガスが大好きです。そのガスをいっぱい食べると元気になるんだって。」



ムダゴン 「オレ様は、地球を滅ぼすためにやってきたんだ。

ちょっと難しい話だがよく聞け。

オレ様が元気になると

地球がドンドン暑くなる。

地球が暑くなると

寒い国の氷が溶けだして

海の水が増え、

沈没する島が出てくる。

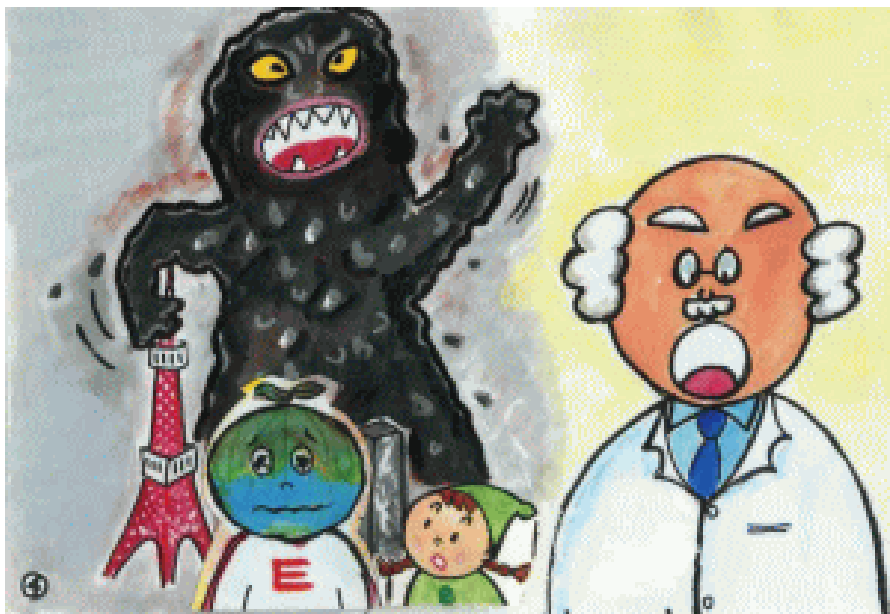
ハリケーンだって起こすし、

草や花を枯れさせ、

食べ物も採れなくする。

そうやって

地球を滅びさせようってわけだ。」



博士「アースマン！ 東京にムダゴンがあらわれた。
エネルギーの無駄遣いから力を付けて、
暴れているようじゃ。」

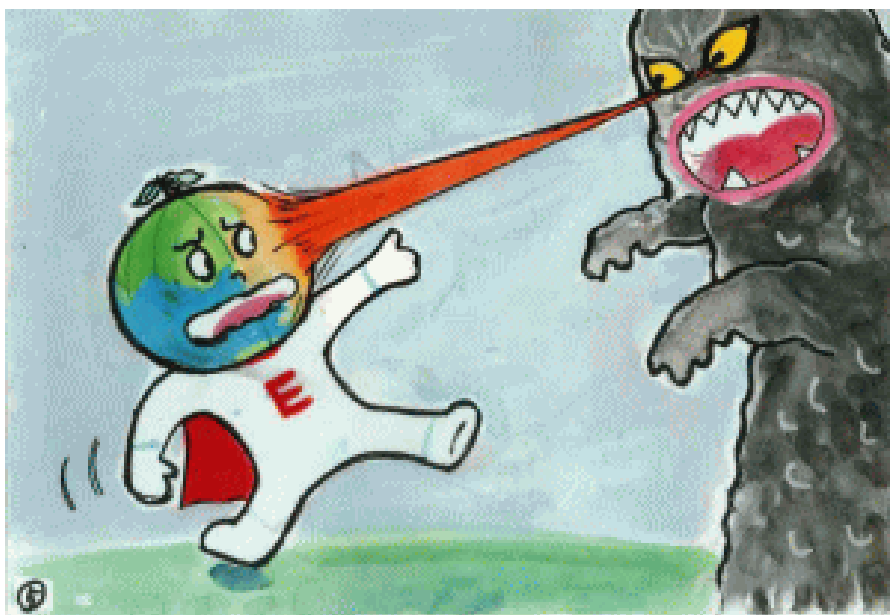
アースマン「分かりました博士、至急、ムダゴンを
やっつけにいきます。」

エコちゃん「あら！ アースマン
どうしたの？ 顔色が悪いわよ。」

アースマン「この頃、パワーが出ないんだ。
どうしてかなあ。」

博士「アースマン、そんな体で行ってはならん。」

アースマン「博士、エコちゃん、大丈夫です。
みんなが僕の助けをまっています。」

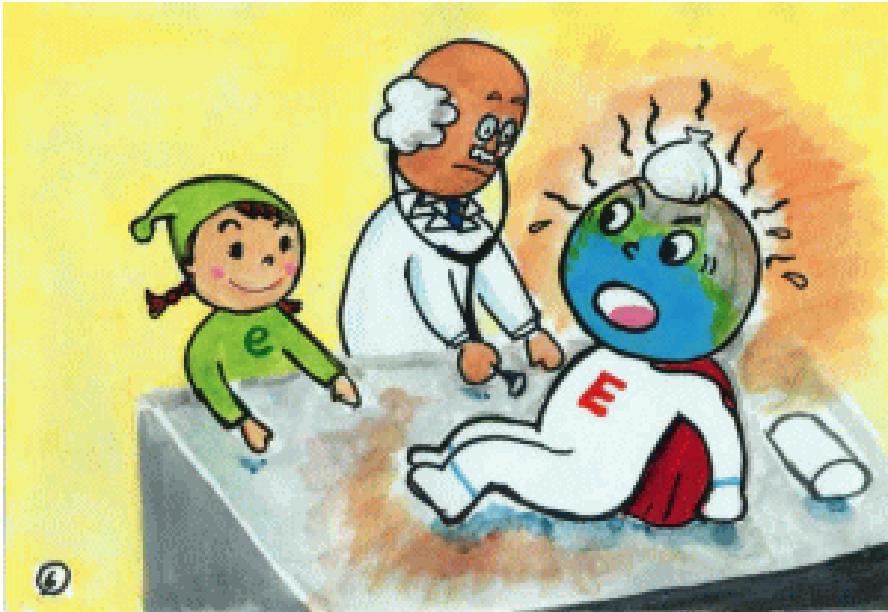


ムダゴン「ガオー、ガオー、
ムハハハハ...」

アースマン「正義の味方、アースマン登場。ムダゴン
覚悟しろ！」

ムダゴン「待っていたぞ、アースマン。
飛んで火にいる夏の虫とはお前のことだ。
ムダゴンビーム」

アースマン「うわーっ。」



エコちゃん 「大丈夫？ アースマン」

アースマン 「あっ 僕はどうしてこんなところにいるんだ。」

博士 「アースマン、起きてはいかん。まだ治っておらんぞ。」

アースマン 「それより、今、町の様子は怎麼樣ですか？」

エコちゃん 「まだ、ムダゴンがあばれているわ。」

アースマン 「こうしてはいられない。もう一度ムダゴンと戦ってきます。」

博士 「いかん、このまま行けばまたやられてしまう。作戦を練るんじゃ。」

3人は、どうやったらムダゴンに勝てるか相談しました。

エコちゃん 「アースマンの調子が悪くなったのはどうしてかしら？」

博士 「エネルギーの無駄遣いで、ガスがいっぱい出てしまった。そのせいじゃろう。」

エコちゃん 「それじゃあ、みんなでエネルギーを節約しなくちゃ。ガスが出ないようにすればアースマンの調子が良くなって、ムダゴンにも勝てるはずよ。」



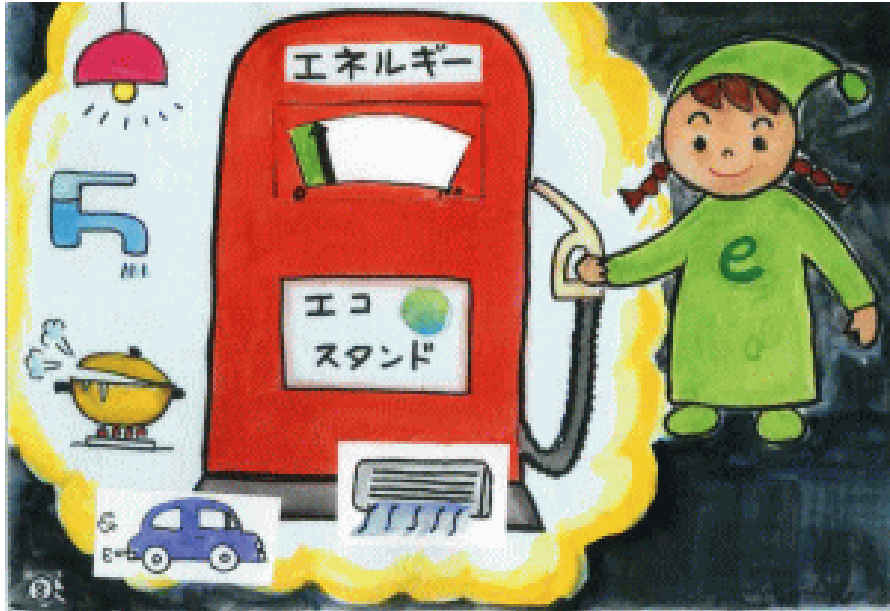
エコちゃん 「私でも出来ることは、

まず、電気の節約ね。

使っていない部屋の明かりを消します。

(残りを抜きながら)

見ていないテレビも電源を切ります。」



エコちゃん「みんな！

エネルギーの無駄遣いをやめよう。
今はエコスタンドの針がゼロに近い状態なの。
(絵を見て針を指す)
みんながエネルギーの節約すると、
この針が動くよ。」

エネルギーの節約って
みんなならどんなことができるかな？
(みんな考えてもらう。
答えられそうな子が居たら答えてもらう。)



(一番目の線で止め)

エコちゃん「アースマン、まだ元気が無いわね。
使っていない部屋の電気を消し、
見ていないテレビを消したわよ。」



(絵を見て針を指さしながら)

「針がなかなか動かないね」

(次の線で止める)

みんなの協力で少し針が動いてきた。」

「どう？ アースマン、少し元気が出たかな？」

えー、まだまだ？」

(また、針を指して)

みんな、どうしようか？

(ここで先生や観客に具体例を挙げて貰う)

《具体例》

- ・家の中でテレビやテレビゲームは減らすようにする。
- ・車をなるべく使わず自転車や歩きで移動する。
- ・部屋ではエアコンの設定温度を変える。
- ・水の出っぱなしを止める。など

アースマン 「あっ、ムダゴン見つけたぞ。今度は負けないぞ。覚悟しろ」

ムダゴン 「なにおー。性懲りもなく、またきたのか。

あれー、おかしいなあ、

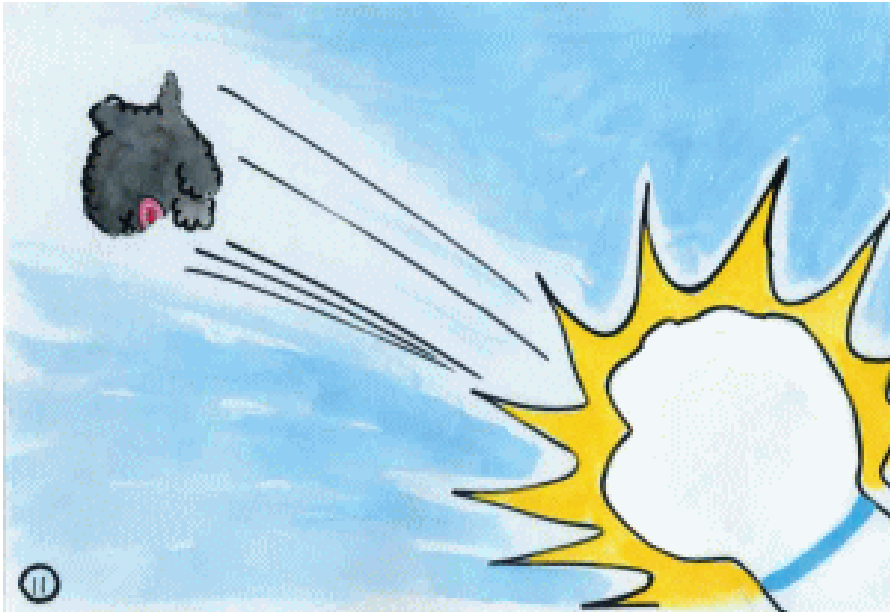
いつもの調子が出てこないぞ。」

アースマン 「どうしてか分かるかい？」

地球のみんながエネルギーの無駄遣いをやめたからさ。

(抜きながら)





アースマン「もうおわりだ。アースマンパンチ！」

ムダゴン「ギャー、 や・ら・れ・た。」



アースマン「博士、エコちゃん、そしてみんなありがとう。ムダゴンをやっつけることが出来たよ。みんなのおかげだよ。でもまだ安心はできないよ。また、いつムダゴンみたいな悪者が現れるかも知れないからね。そのためにはエネルギーの無駄遣いを止めるようね。みんなで地球を守ろうね。」

(絵を見ながら、電気、テレビを指して確認する。)

スイッチオフ！

みんな約束出来るよね！

お わ り